2012年1月27日(金)

上毛新聞 電子速報

JOMO SHINBUN

上毛新聞
購読のお申し込みは
0120－808046
http://www.raijin.com/

2校センバツ

高崎
31年ぶり2度目

健大
夏春2季連続

第84回選抜高校野球大会（センバツ、3月21日から12日間・甲子園）の出場校選考委員会が27日、大阪市内で開かれ、一般選考枠で健大高崎と高崎が選ばれ、本県からのダブル出場が決まった。健大高崎は初、高崎は31年ぶり2度目のセンバツ。

センバツに向け練習に励む健大高崎ナイン（右）とミーティングする高崎ナイン（左）

健大高崎は昨秋の県大会で優勝し、センバツ選考の重要資料となる秋季関東大会でも4強入りを果たした。準決勝では優勝した浦和学院（埼玉1位）に7―11で惜敗したものの、本県では桐生第一（06年夏、07年春）以来となる夏春2季連続の甲子園切符をつかんだ。

県大会準優勝の高崎は29年ぶりとなった秋季関東大会で東海大望洋（千葉2位）、東海大甲府（山梨1位）を逆転で撃破。夏4強の主力を擁する作新学院（栃木1位）には3―6で敗れたが、終盤まで食い下がる粘り強い戦いぶりで高い評価を受けた。

一般選考枠は「関東・東京」で6校。例年、関東4校、東京1校を選び、さらに両地区を比較して6校目を決めている。健大高崎、高崎ともに秋季関東大会で4強に入り。高崎は21世紀枠でも最終選考（9校）に残っていたが、両校ともに一般選考枠で順当に選出された。

27日午後に両校に電話で出場決定の連絡が入ると、校内には野球部員や生徒たちの歓喜の声が響いた。

県勢は2009年（高崎商、前橋商）、10年（前橋工）、11年（前橋育英）に続いて4年連続の出場。ダブル出場は1978年（桐生、前橋）と2009年に続き3度目で、同一市内からの出場は初めて。

組み合わせ抽選会は3月15日に大阪市内で開かれる。

Copyright©2012 THE JOMO SHINBUN